

古事記のふるさと 田原本

古事記にまつわるお話を読んでみよう



イメージ：奈良県ホームページ「記紀・万葉でたどる奈良」より

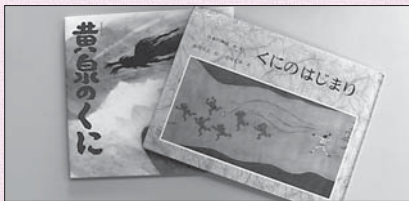
代表的な「古事記」にまつわるお話

あまのいわと
天岩戸



ある時、スサノオノミコトが乱暴な振る舞いをしたため、天照大神（アマテラスオオカミ）は、天の岩屋戸の奥深く引きこもってしまいます。困った神様たちは、天照大神に出てきてもらえないかと相談し、一計をめぐらせるが…。

よみくに
黄泉の国のはなし



国を作った神様のイザナギとイザナミは夫婦になり、たくさんの神様を誕生させました。しかし、火の神様を産んだときに、イザナミはやけどを負って死んでしまいます。どうしてもイザナミに会いたいイザナギがとった行動とは。

いなば
因幡の白ウサギ



大国主神（オオクニヌシノミコト）の兄弟神たちが因幡へ妻をもらいに行くとき、大国主神は荷物持ちとして一緒に出掛けます。途中で、痛みを苦しんでいる白ウサギに出会い、苦しんでいるわけを問いかけると…。

やまたのおろち
八俣の大蛇



スサノオノミコトは出雲で泣いている老夫婦と一人の娘に出会います。泣いているわけを聞くと、「今から、娘がヤマタノオロチに食われてしまう」と返事が返ってきます。スサノオノミコトはヤマタノオロチの退治に向かいます。

「古事記」と聞くと、「難しそうな歴史の書物」というイメージがありますが、実は幼いころに聞いたことがあるいろいろなお話のもとになっています。たとえば、天岩戸（あまのいわと）や山俣の大蛇（やまたのおろち）などがそうです。幼いころに一度は聞いたことのあるお話ではありませんか？

今年、「古事記」が編纂されて1300年になります。「古事記」にまつわるお話をご自身でもう一度読んでみたり、お子さんに読み聞かせてあげて「古事記」に親しむきっかけにするのはいかがでしょうか。

絵本を読みたい人は図書館にお問い合わせてください。

問 図書館 ☎ 32・0262

今月の表紙

茶道で学んだ1年間の成果を披露



2月27日に、田原本幼稚園で行われた茶道教室。この日は、年長の園児が1年を通して学んだ茶道を年中の園児に振る舞いました。講師の安井勝子さん（裏千家茶道）の指導のもと、園児はお茶をたてていきます。泡立てられたお茶を飲んだ園児たちは、お茶の味を楽しんだあと「ありがとうございました」とお礼をし、礼儀作法を学んでいました。

編集後記

■今月号ではたくさんの町内各地を写真撮影しました。記録ではなく伝えたいことを表現するには、どんな場面を撮ればいいのか、アングルは…？などいろいろ考えては何枚も撮って悪戦苦闘。良い写真が撮りたいと思うほど欲が出て撮影枚数は膨大に。加えて優柔不断な私は掲載写真を選ぶのにも一苦勞。もっと技術と決断力がほしいものです。華

■東日本大震災から1年。「想定外」という言葉が使われた震災で、16,278人も尊い命が奪われ、未だ2,994人の方が行方不明となっています。こうした「想定外」にも立ち向かうため、町では、町民の皆さんに災害発生にかかる防災情報をより早く確実に提供する「防災無線システム」を整備しました。詳しくは10ページをご覧ください。永